

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	<b>11</b>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<b>2</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<b>6</b>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<b>11</b>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	3990600037
法人名	医療法人 地塩会
事業所名	グループホーム 新荘の里
訪問調査日	平成20年10月10日
評価確定日	平成20年12月3日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3990600037
法人名	医療法人 地塩会
事業所名	グループホーム 新荘の里
所在地 (電話番号)	高知県須崎市下分甲606-3 (電話) 0889-43-0101

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年10月10日	評価確定日	平成20年12月3日

## 【情報提供票より】(平成20年9月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成18年9月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤3(内兼務2)人、非常勤9人、常勤換算11.29人	

### (2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	准耐火構造物平屋造り	
	1 階建ての	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,000~27,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000円			

### (4) 利用者の概要(9月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名	
要介護1	3 名	要介護2	5 名			
要介護3	7 名	要介護4	3 名			
要介護5	0 名	要支援2	0 名			
年齢	平均	84 歳	最低	66 歳	最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	かがみ診療所 須崎くろしお病院 まるとみ歯科
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

園芸ハウス地帯の中にあり、前を新荘川が流れる事業所は、開設2年が過ぎ、利用者と職員の間にも馴染みの関係が築かれている。管理者が看護師であり、リハビリを毎日の生活に取り入れ、毎朝の体操時には、利用者1人ひとりの健康状態の把握もしている。運営者が医師であることから、緊急時の対応も機敏で、利用者も職員も安心して日々過ごしている。前回の外部評価での改善課題も全員で取り組み、改善している。市との連携、市内の同業者との連携、地域との交流など、関係機関や地域との連携強化に努めている。
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善課題である①地域密着型理念の作成②家族会の発足③介護計画の個別の期間設定④日々のそのひとらしい暮らしの支援⑤希望に合わせた入浴支援⑥外出支援⑦栄養、水分摂取量の把握⑧鍵をかけないケアについては、改善計画を立て、①~⑦は早期に改善されている。⑧の鍵をかけないケアの実践は、状況によって玄関の施錠を行っており、今後の課題として残った。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価については全職員で話し合い、評価の意義についても理解しているが、運営者には報告していない。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、参加メンバーからの質疑や意見が出され、双方向的な会議になっている。参加メンバーの働きかけで、市の防災無線を事業所に設置している。</p>
重点項目 ②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族会を昨年12月に立ちあげ、本年4月と9月に事業所の行事の後で家族会を開催している。家族から事業所で散髪して欲しいとの意見があり、理容師に来てもらい散髪するようにしている。苦情については、今のところ寄せられていない。</p>
重点項目 ③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、広報紙を配布するとともに、地区の研修会、老人会、忘年会、一斉清掃等に参加している。近隣に保育園、小学校があり、園児や小学校児童との交流も盛んである。</p>
重点項目 ④	

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「生まれ育った地域の中で、その人らしくつらぎのある、生活を尊重する」という、地域に密着した独自の理念がある。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 職員全員で毎日朝礼時に復唱確認を行ない、意識づけに努めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 笑顔と思いやりを忘れず、優しい言葉かけにも気を付けて、ケアに努めている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 町内会に参加している。  <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地区の研修会、老人会、忘年会、一斉清掃等に参加し、近隣の保育園や小学校の園児や児童との交流も盛んである。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 管理者と職員で話し合い自己評価に取り組んでいるが、運営者には報告していない。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 外部評価で見出された課題は全職員で改善計画を立て、早急に改善に取り組んでいる。	○	自己評価については、運営者も含めて取り組むことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>運営推進会議は、事業所から状況や活動内容について報告を行い、参加メンバーから質疑や意見が出るなど、双方向的な会議になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>外部評価の結果報告を行い、改善計画を示して改善に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>市の健康福祉課に運営に係る相談を行い、助言を受けている。市主催のグループホーム研修会にも参加し交流を図っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族がオムツを持参することになっているため、定期的に家族が来訪し利用者の状況について話し合っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>2ヵ月毎に「新荘の里だより」を発行し、担当者が利用者の近況を一言添えて家族に送付している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p>変化等がある場合は、すぐに電話で連絡を取っている。</p> <p><input type="checkbox"/>金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>金銭出納帳に家族確認のサインがない。</p>	○	<p>家族の安心を確保し、事業所との信頼関係を築くためにも、金銭について使途の確認や報告を行い、家族の確認を得ることが望まれる。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。  昨年、家族会が発足し、今年4月と9月に事業所の行事に合わせて家族会を開催している。事業所で散髪してほしいとの意見があり、理容師に来てもらい散髪をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。  苦情は出ていないが、出た場合は職員会等に向け全員で話し合い、課題等を検討し、日頃のケアに役立つ取り組みをするようにしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。  異動はユニット間の異動など最小限に抑えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。  1～2週間の十分な引継ぎ期間をとっている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。  全職員が研修を受けられる体制になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。  毎月の全体会議で研修内容を報告している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。  県内のグループホーム連絡協議会に加入している。全国組織には法人本部が加入し、情報を共有している。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。  市が開催するグループホーム研修会に参加しており、管理者同士の個別の交流もしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>入所時に管理者と職員2名で家族や病院から生活歴、病状等を把握し、意向の確認もしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>本人や家族が事業所を見学し、入所前の体験をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者と職員とで面接をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>常に言葉を掛け合い、料理など日常の作業は一緒に行って、協働しながら生活している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>利用者に常に声をかけ、意思疎通を図りながら、不安定になっている利用者には、優しく声かけしながら常にアンテナを張り、触れ合って、思いを共感するようにしている。</p>		
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>本人の思いと家族の思いとが違うこともあるので、日々の生活の中で見出された利用者の思いを大切にケアに取り組んでいる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族だけではなく利用者の日々の言動や表情から把握するようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 本人や家族の意向を聞き、介護計画を作成している。  <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 3か月に1回見直している。  <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。  状況変化に応じて介護計画の見直しを行なっている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。 管理者が看護師資格を持っており、協力医療機関の医師の往診も月2回あり、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。  外出、外泊、かかりつけ医の送迎は家族が対応しているが、家族が対応困難な場合や協力医療機関への対応は職員が支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。  かかりつけ医への受診は基本的に家族が対応しているが、困難な場合は職員が支援している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。  希望に応じて対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。  家族対応時は家族から受診結果を伝えてもらい、職員対応時は家族に連絡して情報を共有している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>看取りの指針等を作成し、状態の変化に応じて関係者で話し合いを行なっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>入所時に話し合いを行い、本人や家族の意向を踏まえ、医師との連携を取りながら対応している。</p>		
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p>排泄誘導には耳元で言葉かけするなど、目立たない優しい対応を心がけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>ケース記録にはイニシャルで名前を記載し、採用時に誓約書を出すなど、プライバシーを損ねないように努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>プライバシーを損なわないような言葉かけやケース記録への配慮等個別対応はできており、勉強会も行っているが、個人情報保護法の理解について個人差が見受けられる。</p>	○	<p>全職員が研修会等を通じて、個人情報保護法の理解を深め、意識向上を図る事を期待したい。</p>
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>毎朝希望を聞き、利用者ができるだけ自分で決めるように工夫して取り組んでいる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p> <p>その日の個人の希望に添った生活支援を行っている。</p>		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。  食事の下準備、食後の下膳、食器洗等を手伝ってもらい、一緒に進めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。  毎日利用者の希望を確認して入浴している。  <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。  入浴拒否の利用者には、職員が交代したり、声かけの内容を変えたりして対応している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。  野菜の皮はぎ、下味付け、後片付け等その人の得意とする分野で知恵を発揮する場面を作っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。  塗り絵、ちぎり絵などを勧め、演歌の好きな人には歌を聴く機会を作り、楽しみごとを作り出すための支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。  良心市や理美容院に出かけている。  <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。  車いすの人も散歩の外出支援をしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。  近くのスーパーや市内の大型ショッピングモール、年3回程度のドライブなどに出かけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p>基本的には日中玄関に鍵をかけていないが、日によって不安定になる利用者がいるため、職員が入浴支援を行う手薄の時間など時間帯によっては玄関の鍵をかける場合がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。</p> <p>利用者の傾向は把握しており、気持ちが不安定になる人を気にかけて見守っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。</p> <p>近くの園芸ハウスの農家の人や近隣住民に協力が得られるよう、常日頃からに連絡を取っている。</p>	○	<p>日によって不安定になる利用者に対しても、職員の勤務体制を見直すなど、鍵をかけない工夫を検討されたい。</p>
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。</p> <p>消防防火訓練、市の防災訓練、夜間訓練等を行なっているが、地域住民の参加は得られていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。</p> <p>避難路の確保、消火器の点検、水、非常用食料、備品等の準備はできている。</p>	○	<p>非常時の対応には地域住民の参加、協力が不可欠であるので、参加を呼びかけ、地域住民の協力のもと避難訓練を実施することを期待したい。</p>
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>食事、水分量は毎日一人ひとりのチェック表に記入している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>刺身の嫌いな人は煮魚や焼き魚に、魚の嫌いな人は肉に変えるなど、嗜好と栄養バランスに配慮して対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>法人の栄養士による献立を基に、栄養バランスに配慮して献立を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>畳やソファを配置し、共用空間の一角に机を置き、1人で本や新聞を読めるようにするなど、書斎的な雰囲気を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>塗り絵や写真等を飾り、家庭的な雰囲気は壊していない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>ススキやコスモスなど季節の草花をテーブルに飾るなど配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>仏壇、テレビ、椅子、鏡台、タンス、コタツ等の使い慣れたものを持ち込んでいる。家族写真や孫からの手紙等も壁に貼り、温かみのある雰囲気の居室作りに努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>家族が協力的であり、居心地の良い居室になっている。</p>		